

平成 30 年 2 月 7 日
株式会社日本政策金融公庫

第 11 回「アグリフードEXPO大阪 2018」を開催します
～ 国産農産物にこだわった全国規模の展示商談会 ～

日本政策金融公庫(略称:日本公庫)は、国産農産物をテーマとした全国規模の展示商談会、**第 11 回「アグリフードEXPO大阪 2018」**を、**2月 21 日(水)～22 日(木)の2日間、ATC アジア太平洋トレードセンター**(大阪府大阪市住之江区)において開催します。

アグリフードEXPOは、「国産」にこだわり広域に販路拡大を目指す農業者や食品加工業者とバイヤーをつなぎ、ビジネスマッチングの機会を提供する展示商談会で、毎年8月に東京、2月に大阪で開催しています。

今回 11 回目を迎える大阪開催では、全国各地の稲作、野菜、果樹、畜産などの農業者や食品加工業者など、**493 先の出展を予定**しています。

現在、国の施策において農林水産業を成長産業とするために、「6次産業化」や農産物・食品の「輸出」を促進することが重点的な取り組みに位置付けられています。日本公庫はアグリフードEXPOを通して、これらに取り組み、地域の農産物に付加価値を付け、競争力を高めようと頑張っている農業者や食品加工業者を応援します。

【第 11 回「アグリフードEXPO大阪 2018」の開催概要】

日時:2月 21 日(水)10:00～17:00 (10:30 より会場内にて開会式を行います)

2月 22 日(木)10:00～16:00

会場:ATCアジア太平洋トレードセンター(大阪府大阪市住之江区南港北 2-1-10)

主催:日本公庫

※詳細は公式ホームページ(<https://www.agri-foodexpo.com/>)をご覧ください。

※来場を希望される方は、公式ホームページから招待状を請求のうえ、当日ご持参ください(入場無料、当日登録制)。なお、アグリフードEXPOは業界関係者とのビジネスを目的とした商談会です。業界関係者でない一般の方の入場はご遠慮いただいております。

<当日の主なイベント>

○海外展開相談コーナーや食品輸出商談会で農産物・食品の輸出をサポート

農林水産物・食品の輸出事情に詳しい(独)日本貿易振興機構(JETRO)のアドバイザーや海外への輸出通関を所管する大阪税関の職員が、出展者からの輸出に関するさまざまな相談に応じる「海外展開相談コーナー」を設置します。

また、2月20日(火)、21日(水)には、同会場内でJETROが、アジアやヨーロッパ、北米など12ヶ国・地域から日本食材の輸入に関心を持つ**バイヤー17社**を海外から招き、「個別商談会」を開催します。海外バイヤーは、アグリフードEXPOの会場も視察予定です。招聘する海外バイヤーの国・地域は以下のとおりです。

【個別商談会に招聘する海外バイヤーの国・地域】

カナダ	英国	フランス	ベルギー	ポーランド
イスラエル	中国	ベトナム	タイ	マレーシア
インドネシア	オーストラリア			

○被災地の特産品をPRし復興を応援

会場内に東日本大震災及び熊本地震「復興支援コーナー」を設置します。

今回は、岩手・福島・熊本・大分の4県に特産品をPRしていただくことで、被災された農業者の皆様の復興を応援します。

○事前予約制の個別商談会でビジネスチャンスをサポート

「アグリフードEXPO」は、来場者が会場内の各出展者のブースをご覧いただき、自由に商談していただく展示商談会ですが、事前予約制の個別商談会も実施します。

専用の商談スペースを利用して、ゆっくりご商談いただける場の提供を通じ、出展者の新たなビジネスチャンスをサポートします。

また、今回は、出展者が商談したいバイヤーを招聘するサービスや、バイヤーがブース訪問を事前に予約できるサービスを新たに開始し、出展者の商談を後押しします。

<前回の開催結果>

○第10回「アグリフードEXPO大阪2017」(平成29年2月22日～23日)開催結果

出展者数	454先(366小間)	来場者数	15,262名
商談件数 (商談引合件数(※))	32,082件 (5,249件)	会期中成約件数	1社平均4件 最高60件

(※)商談引合件数:商談会終了後も継続して商談を行う予定の件数。



前回会場の様子



復興支援コーナーの様子